

# ブラジル高速鉄道計画：官民ハイレベルミッションの結果概要

(平成22年1月19日～20日、ブラジリア)

## ●日本側訪問メンバー

【官側】長安国交大臣政務官（総理特使）、吉良外務大臣政務官（+外務・経産・国交省幹部）

【民側】<三井物産>大前代表取締役専務 <三菱重工>堀口執行役員

<東芝>仲田執行上席常務 <日立>鈴木執行役員常務（日本企業連合各社）

●面談先：①アレンカール副大統領（20日10:30）（総理親書を手交）

②ゲーハ文官長府副大臣（19日15:00）

③パッソス運輸大臣代行（19日17:00。ベルナルド国家陸運庁長官同席）

## ●主なやりとり

### 【日本側】

①現在の入札案のままでは民間事業者のリスク負担が過大であり、日本企業連合として応札すら困難となる旨説明し、リスク分担の見直しを要請。

②評価基準についても、技術水準の高い高速鉄道導入がブラジルの利益となるので、金融面のみならず、技術面についても基準に加えるべきである旨を指摘。

③日本政府としても、本件事業の日伯間の戦略的経済関係における重要性にかんがみ、技術移転や資金協力の面で出来る限りの協力を行う用意がある旨伝達。

### 【ブラジル側】

①事業性が低いのであれば、条件を見直す必要がある。リスク分担の見直しについて、日本企業のみならず他国からも同様の提案があれば見直す用意あり。

②技術面での評価については、客観的に評価する基準作りが難しく、訴訟問題に発展し支障を来す恐れもある。

③中国の武漢～広州高速鉄道を視察したが、各国技術の長所を導入していると感じた。中国も同様に入札案の内容の一部（注：需要リスクとの情報あり）に懸念を有している。



リオ・サンパウロ高速鉄道  
サンパウロ・リオ・カンピーナス間  
(東京～大阪間にほぼ相当)に時速300kmクラスの高速鉄道を建設する構想。2016年のリオ五輪前年までに開業を目指している。

【今後の入札スケジュール】

2010年 1月11～29日	路線各地での公聴会実施 (書面意見提出締切：29日)
2月15日頃	入札公示
6月	入札締切り(→6月末?には 優先交渉権者決定)